



アイロベックス通信

平成20年7月 Vol.34

住所 新宿区新宿5-17-17 渡菱ビル3F
電話番号 03-3232-2525
URL <http://www.ilovex.co.jp/>
発行者 株式会社アイロベックス

代表の一言

ソフトウェア開発部のソースリーディング



基礎を学ぶこと
代表取締役
杉山淳子

当社では、特別の場合を除いて、新人は最初にソフトウェア開発部に配属されることになっています。SEになるにしても、何になるにしても、最初、プログラムに触れることが必要なのではないかという考えからです。プログラムを組みながらシステムに触れ、「論理的に考える。」「無駄とは何か。」「必要な冗長性とは何か。」をプロジェクトの現場で身に付けていきます。

当社のソフトウェア開発部には、大きく2つの役割があります。1つはプログラムの教育です。教育には、プログラミングだけでなく、ビジネスマナーや経理、販売管理といった業務まで含まれます。そして、もう1つは当社のオリジナル・フレームワークの開発と維持となります。技術というと、新しいものを作ることばかりに目が行きがちですが、実は当社の強みは、「ソース読み」にあると思っています。先輩たちは、ソースを読む力を鍛え、プログラムを動かす前に机上デバッグをすることを自分に課してきました。ソースリーディングは当社の伝統となってワークグループも開催されています。

ソフトウェア開発部 部長

開発の主力を担う部！

ソフトウェア開発部での主な取り組みには、新入社員の一般教育やプログラム教育の取りまとめ、プログラムの品質管理、またITプロフェッショナル部と共同での標準化活動などが挙げられます。これらをそれぞれワークグループ的なチーム編成にし、やる気に満ちたリーダーたちが活動を引っ張って来てくれています。この7月からは3ヶ月の教育期間が終了し、新入社員の皆さんが各プロジェクトチームへ配属されOJTに入るようになります。

新人に限らずですが、品質を守るためには決められた手順を守ることが挙げられます。そのためにソフトウェア開発部では、単体テスト手順、納品手順、ソース管理方法などの手順を定義してまいりました。しかし定義するだけでは結局は運用に任せるということになってしまいます。今後は広く使われているツールを活用したり、必要なものは自分たちで作ったりして、人任せではない品質管理を目指していきたいと考えています。(ソフトウェア開発部のブログはこちら <http://www.ilovex.co.jp/Division/SRD/>)



ソフトウェア開発部
部長
中村 千穂

スター社員

言葉の壁を越えて活躍中！

石塚：中国からやってきた戚(セキ)さん！得意なプログラム言語は何ですか？

戚：VB.NETです。中国ではJAVA、C#などの経験もあります。

石塚：今まで担当したプロジェクトではVB.NETが多かったんですか？

戚：はい。入社してから、担当したプロジェクトは大部分がVB.NETです。それ以外ではASPもありました。

石塚：部内で尊敬している人はいますか？

戚：松本さんを尊敬しています。テストがとても真面目なんです。厳しいレベルのテストです。

石塚：日本の企業で働いていて思うことはありますか？

戚：皆、真面目ですね。

石塚：どんなところで思うんですか？

戚：以前、ソフトウェア開発部だった竹藤さんは、早くから来て仕事をしていました。すごく仕事に対する意識が強いと感じました。

石塚：ほう！

戚：それに携帯電話！

石塚：携帯電話？

戚：みんなマナーモードですよ。社内でも！

石塚：中国ではちがうんですか？

戚：前にいた中国の会社では、プライベートな電話がよく鳴っていましたよ(苦笑)

石塚：ううん。文化の違いですかね。
戚：かなあ(笑)
石塚：会社内で何か教わったことはありますか？
戚：同僚から、私の可笑しい日本語をよく指摘してもらいます。日本語をもっと上手く話したいので、指摘してくれることに感謝しています。
石塚：日本語は難しいですか？
戚：難しいよ。でもプログラミング言語は共通だからね。誰にも負けないよ～！
石塚：おお！！さすがです！次は中国ツアーを企画してください！
戚：北京オリンピックに皆で行きましょう！
石塚：期待してます！戚さんありがとうございました。



ソフトウェア開発部 チーム紹介

開発標準化チーム

よりよいプログラム開発を目指す

ソフトウェア開発部標準化チームは、主にプログラム開発に関わる活動を行なっています。現在行なっている活動としては以下の3つです。

- 1つ目は**コーディング規約の制定**です。現状の規約の見直しを行ない、必ず守るべき「規約」の部分と、コーディングの「作法」の部分との切り分けを行ない、より分かりやすいコーディング規約の制定を行なっている中です。
- 2つ目は**査読**です。月1回の社内ソースの査読を行なっています。査読の結果は、各プロジェクトのプログラムリーダーへフィードバックを行ない、プログラム品質の向上と共に、プログラマー個々のスキル向上を図っています。査読を行なった結果はブログという形で社内公開しています。
- 3つ目は**フレームワークの構築、改善**です。より生産性を高めるため、より品質を高めるためのフレームワークの構築を目指しています。また、フレームワークを使用するにあたってのマニュアル等の作成を行なっています。新しい部品の作成も行なっており、最近ではAjaxを利用した部品の作成を行ないました。

今後は上記3つの活動に加えて、社内向けの勉強会を開催する予定です。ソフトウェア開発部標準化チームは妥協を許さないチームです。



ソフトウェア開発部
開発標準化チーム
リーダー
小佐野 貴久

品質管理チーム

徹底したソース管理

ソフトウェア開発部品質管理チームでは、ソフトウェア開発において最も重要な資産となる、**ソースコードの品質管理**のための活動を行っています。具体的な活動内容としては、ソース管理手順書の作成や、弊社では特にMicrosoft Visual SourceSafe (以下VSS) を使用してソース管理を行うことが多いため、VSSの機能の調査を行っています。

今年の3月には、納品手順書、納品時メール雛形の作成なども行いました。新人や、まだ納品やソース管理を行った経験が少ない人でも、**いかにミスなく、効率的に作業を行えるか**、そしてアイロベックスとして、常に一定の水準を保つために必要なノウハウをまとめました。

新たに上がったソース管理における注意点などは、社内の開発者向けのブログに投稿し、**社内全体としての情報共有**を心がけています。また、ソフトウェア開発部のブログに、活動報告を行い、社外にむけても情報を発信しています。今後も、アイロベックスの品質を守り、更なる向上を目指して、継続的で有意義な活動を行っていかねばと思います。(品質管理チーム第一目のブログはこちら http://www.ilovex.co.jp/Division/SRD/archives/2008/03/post_103.html)



ソフトウェア開発部
品質管理チーム
リーダー
松本 智子

単体テストチーム

賢く厳しくテストする

ソフトウェア開発部単体テストチームの4月から6月の主な活動内容は、以下の2つです。

1. テスト手順の紹介

以前社内で単体テスト試験を実施しました。簡単なメンテナンスを時間内にどれだけバグを発見できたか、テスト結果をどのように作成しているかを確認するというのが狙いでした。

その受験者の中で優秀なテスト結果を提出した社員のテスト手順を社内ブログで紹介しました。テスト手順、またはその伝達方法等において優れている人の実施手順を文章化し、共有することを目指すことが目的です。ハードコピーの撮り方やバグの説明の仕方など、品質を上げるため効率よくテストできるよう紹介をしました。

2. 検収管理システムbug-zeroの担当者別集計

よりバグの詳細がわかるように検収管理システムbug-zeroを改修しました。今までは、バグの総合計や重要度別の件数、未対応・確認待ち・完了の進捗状況別の件数と、障害対応回数の件数のみを表示していました。(フリーソフトbug-zeroはこちら <http://www.ilovex.co.jp/info/freesoft/kenshu.html>) 改修後は、プロジェクト別担当者別のプログラム1本あたりのバグの件数を表示し、障害区分別のバグ件数も表示できるようにして、バグなのかまたは仕様変更なのかを区別するようにしました。3回以上差し戻された場合には、仕様がわかっていない事になるので赤く表示させていただきます。様々な切り口で数値化することでプログラマー本人のバグを分析し、苦手な箇所を減らす事ができるようにしています。



ソフトウェア開発部
単体テストチーム
リーダー
松井 佳奈子

教育期間、終了しました！！



4月～6月に渡る3ヶ月間の新人教育が終了しました。完了の集大成として、各自研究発表を行いました。今後は皆ソフトウェア開発部として業務に入ります。皆様、これからよろしくお願いたします。(新人6名)

編集後記

今回はソフトウェア開発部を取り上げました。アイロベックス内で一番大所帯の部です。会社の軸ともいえるプログラマーの育成を担うのもソフトウェア開発部です。品質を守るためお客様のために活動するプログラミングのプロフェッショナル集団です。



編集：エリザベート石塚